

## Analyzer Batch とは

AnalyzerBatch は AnalyzerPro に付随されるコマンドラインツールです。

本ツールを用い、Analyzer のほとんどの機能をバッチ処理する事が可能です。

これにより、Job の作成、AutoTrack、Parameterizing といった単純作業を自動化出来ます。初歩のコマンドラインの知識で AnalyzerBatch はご利用いただけますし、もう少し経験のある方であれば、特定のフォルダー内のビデオに対して全て処理をするというようなスクリプトを書いてご利用いただけます。

## どうして AnalyzerBatch を使用するのか？

AnalyzerBatch をご利用頂くことで皆様の映像制作日数を大幅に節約する事が出来ます。RetargeterPro のバッチ機能と合わせる事で、AutoSolve までの作業を完全に自動化する事が出来ます。また、もしも SharedPoses をご利用になられていれば、SharedPose もバッチでご利用いただけます。

想像してみてください。多数のビデオデータを帰宅まえにセットして、翌朝出社して、フェイシャルアニメーション結果をプレビューする事を。それでは始めましょう！

## 1.Job の作成方法

初めに、AnalyzerBatch を用いて、ビデオデータから新しい Job の作成方法をご紹介します。

### ステップ 1

バッチ処理をするソースのビデオデータ用のフォルダを作成して、そこにビデオデータをコピーします。

例」 `C:\FacewareBatch\SourceVideos`

### ステップ 2

Analyzer ファイル用のフォルダを作成します。

例」 `C:\FacewareBatch\AnalyzerFiles`

### ステップ 3

コマンドプロンプトを起動し、以下のように入力して Analyzer のインストールフォルダに移動します。

例」 `cd C:\Program Files\Faceware\Analyzer`

### ステップ 4

コマンドプロンプトに以下のコマンドを入力して実行します。

例」 AnalyzerBatch NewJob "C:¥FacewareBatch¥SourceVideos¥<video\_name>.mov"  
v" "C:¥FacewareBatch¥AnalyzerFiles¥<job\_name>.fwt"

(<video\_name>及び<job\_name>は任意の名前を入力してください。)

### オプション **-AutoTrack**

JOB 作成と同時に AutoTrack も行いたい場合には先ほどのコマンドに続けて、次の引数を追記してください。

例」 AnalyzerBatch NewJob "C:¥FacewareBatch¥SourceVideos¥<video\_name>.mov"  
"C:¥FacewareBatch¥AnalyzerFiles¥<job\_name>.fwt" -autotrack h -neutralframe ""

("h"は固定カメラ(StaticCam)なら"s"に、neutralframe の後の""はご利用になりたい場合は任意のパスを指定に変更していただけます。""の場合、Neutral Frame を使用しない扱いになります。)

### 結果

以上で、ステップ 2 で作成したフォルダ内に.fwt ファイルが作成されています。もしも AutoTrack オプションを使用されていれば、自動でトラッキングされた状態で保存されています。以上を踏まえて、複数のビデオデータにも自動でバッチ処理が出来るスクリプトを作成していただければ幸いです。

## 2.Parameterize 方法

Job 作成もトラッキングも終了したら、アニメーションデータの出力のために Parameterize が必要になります。勿論、この作業もバッチ化出来ます。まずは、fwt ファイルと、同名の作業フォルダが必要になります。また、Neutral Frame ファイルは必須ではないですが、Retargeter でのアニメーションクオリティを上げるためには是非ご利用ください。

### ステップ 1

コマンドプロンプトを起動して、以下のように入力して、Analyzer インストールパスに移動します。

例」 cd C:¥Program Files¥Faceware¥Analyzer

### ステップ 2

コマンドプロンプトに次のように入力して Parameterize を実行してください。

例」 AnalyzerBatch Parameterize "C:¥FacewareBatch¥AnalyzerFiles¥<Job\_name>.fwt" "<User\_Name>" "<Password>" -actormodel "<Path\_to\_NeutralFrame.fwlf>"  
(<User\_Name>,<Password>は製品購入時にお渡ししたアカウント情報、<Path\_to\_Neutral

alFrame.fwlf>は任意の Neutral Frame をパス込みで入力してください。)

## 結果

成功した場合は、fwt と同一フォルダに、Retargeter で読み込む為の同名の fwr ファイルが作成されます。

## 3. Export Landmark Position のバッチ処理方法

同様に Export Landmark Position も AnalyzerBatch で実行出来ます。

### ステップ 1

コマンドプロンプトを起動して、以下のように入力して、Analyzer インストールパスに移動します。

例] cd C:\Program Files\Faceware\Analyzer

### ステップ 2

コマンドプロンプトに次のように入力して Export Landmark Position を実行してください。

例] AnalyzerBatch ExportLandmarkPosition <Path\_to\_FwtFile> <Path\_to\_XmlFile>

(<Path\_to\_FwtFile>には任意の fwt ファイルをパス込で、<Path\_to\_XmlFile>は Land mark データを出力したいパスを拡張子 xml で入力してください。)

## AnalyzerBatch リファレンス

Analyzer Batch には以下の 5 つのオプションがあります。

NewJob

Track

ExportLandmarkPositions

Parameterize

CountValidFrame

それぞれのオプションを使用した場合の引数と構文は以下の通りです。

○NewJob

構文 : AnalyzerBatch.exe NewJob <MovieFile> <FwtFile> [-autoValidFrames TopLeft|BottomLeft|TopRight|BottomRight #RGB true|false] [-manualValidFrames frameRanges] [-manualSize percentSize[1-100] percentQuality[1-100]] [-imageRotate 0|90|180|270][-frameBurnin][-analysisDefintion C:¥Path¥To¥AnalysisDefinitionFile.xml][-autotrack s|h|hbw] [-neutralframe C:¥Path¥To¥NeutralFrame]

引数 (必須) :

MovieFile : job のソースになるビデオファイルのパスを指定してください。

FwtFile : job の作成先のパスを指定してください。

引数 (任意) :

-autoValidFrames: ValidFrame を自動で設定します。最初の引数でコーナーを指定し、次の引数で色を指定、最後に指定したコーナーが指定した色になった場合を有効にするのか、その逆にするかを指定します。

-manualValidFrames : VaildFrame を手動で入力します。(e.g. 0-100,200-300)

-manualSize : Retargeter で使用する際の Jpeg シーケンスの設定をします。最初の引数で大きさ(解像度)を、次の引数でクォリティを指定します。値は百分率です。(0-100)

-imageRotate: ビデオを 90 度単位で回転させます。 ※現在バグがあり動作しません。

-frameBurnin : フレーム番号をビデオに焼き込みます。

-analysisDefinition : (不使用)

-autotrack : Autotrack をします。最初の引数はアルゴリズムです。(s : 固定カメラ、h : ヘッドカム、hbw : ヘッドカム白黒)

-neutralframe:NeutralFrame のパスを指定します。-autotrack と合わせて使用します。

## ○Track

構文 : AnalyzerBatch.exe Track <FwtFile> [-autotrack s | h | hbw] [-neutralframe "C:¥Path¥To¥NeutralFrame file"] [-smoothing] [-model "C:¥Path¥To¥Custom Model file"]

引数 (必須) :

FwtFile : Track したい Fwt ファイルのパスを指定します。

引数 (任意) :

-autotrack : Autotrack をします。最初の引数はアルゴリズムです。(s : 固定カメラ、h : ヘッドカム、hbw : ヘッドカム白黒)

-neutralframe : neutral frame を指定します。autotrack と合わせて使用します。

-smoothing : スムージングをします。

-model : カスタムのトラッキングモデルファイルを指定します。

## ○ ExportLandmarkPositions

構文 : AnalyzerBatch.exe ExportLandmarkPositions <FwtFile> <XmlFile>

引数 (必須) :

FwtFile : Landmark Position を出力したい Fwt ファイルのパスを指定します。

XmlFile : Landmark Position の出力先の XML ファイルのパスを指定します。

## ○Parameterize

構文 : AnalyzerBatch.exe Parameterize <FwtFile> <Username> <Password> [-actor model "C:/MyFiles/NeutralFrame.fwlf"] [-url http://webserviceurl:port] [-ranges [all | valid | specified]] [-includetrackingresults]

引数 (必須) :

FwtFile : Parameterize をする fwt ファイルのパスを指定します。

Username : 製品購入時にお渡しするアカウントのユーザー名を入力します。

Password : 製品購入時にお渡しするアカウントのパスワードを入力します。

引数 (任意) :

-actormodel : Newtral Frame ファイルのパスを指定します。

-url : Parameterization URL

-ranges : Parameterization 範囲を指定します。all, valid, specified (e.g. 100-200,300-400)

-includetrackingresults : Retargeter 用に LandmarkPosition が焼きこまれたイメージシーケンスを作成します。

### ○CountValidFrame

構文 : AnalyzerBatch.exe CountValidFrame <Source> [-color #RGB] [-location TopLeft | BottomLeft | TopRight | BottomRight] [-indicatorMeaning true | false]

引数 (必須) :

Source : 3 種類の記述が出来ます。

- (1)ValidFrame を計算したいムービーが保存されているフォルダを指定
- (2)計算したいムービーのリストを記述したテキストファイル (\*.txt)※ 1
- (3)任意のムービーファイル

※ 1 ムービーリストの記述方法

単純にパスを羅列したもので大丈夫です。

例」

C:¥Location¥Movie1.mov

C:¥Location¥Movie2.mov

C:¥Location¥Location2¥Movie3.mov

引数 (任意) :

-color : ValidFrame をあらわすインジケータの色 (例」赤 : #FF0000)

-location : ValidFrame のインジケータ配置 ('TopLeft' (default), 'TopRight', 'BottomLeft', 'BottomRight')

-indicatorMeaning : インジケータの意味。” true” (default) =表示されている Frame が ValidFrame。” false” = 表示されている Frame が invalid Frame。

Help の呼び出し方

AnalyzerBatch Help の後に各オプションを入力してください。

AnalyzerBatch Help (NewJob / Track / ExportLandmarkPositions / Parameterize /  
CountValidFrame)